

「水辺の小さな自然再生」事例紹介

記入年月 2018年11月

都道府県名	北海道		河川名	豊平川					
事例タイトル	水路掘削によるサケの産卵環境改善(2018)								
写真									
水系名/河川名	石狩川水系/豊平川		場所	北海道札幌市					
位置情報 (緯度経度)	43.063828,141.376157		活動開始年	2018年					
活動概要 (経緯・目的等)	札幌ワイルドサーモンプロジェクト (SWSP) は、札幌を流れる豊平川で、先住民族アイヌの伝統や市民による「カムバックサーモン運動」の精神を尊重しつつ、この地域の生物多様性を重んじ、科学的知見に基づく順応的管理手法によって市民とともにサケの野性味を向上させることを目指している。この活動のひとつとして、2015年よりサケの産卵環境の改善する取り組みを行っています。								
再生の手法	簡易魚道		簡易水制 (巨石・ブロック)		バープ工 (上向き水制)		石倉かご・竹蛇籠		植生ロール・ポット
	魚道改良		たまり・わんど造成		河床攪乱		その他 (記述)	水路掘削、通水	
実施体制 (活動の担い手)	市民・市民団体	○	河川管理者 (国)	○	河川管理者 (都道府県)		河川管理者 (市町村)		河川管理者以外の地元自治体
	大学・研究機関	○	学校 (小中高)		企業	○	その他 (記述)		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・サケの産卵適地の中で近年環境が悪化しているところ、また環境を改善することで市民の観察ポイントとなる場所を選定した。 ・(株)北英建設が札幌河川事務所に打診し、受注業務の地域貢献として重機や人員の提供を行った。 ・寒地土木研究所が環境改変後の環境調査を実施し、SWSPが場所の選定および産卵床などの調査を担当した。 ・SWSPが札幌市環境局のまちなか生き物活動運営業務を受託することにより、札幌市にも参加してもらうことができた。 ・現場は2012年まで産卵が見られたが、近年はサケが侵入できなくなっていたため、上流と下流を掘削し、水路の幅を広げた。また、川の環境改善だけでなく、観察環境も改善するため、視界を遮り、河床の攪乱を低下させていた樹木を伐採した。 								
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・重機を使った環境改善作業は、工事業者の地域貢献というボランティア活動により実現しているが、業者さんにとっても参加することでメリットとなるような仕組みづくりも必要だと感じる。 ・出水時の土砂の移動が頻繁にあるため、造成した環境が長く続くよう、豊平川の河道変遷や砂州の発達傾向を把握し、効果的な産卵環境の造成方法を見つけたい。 								
効果 (直接的な効果・間接的な効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊平川におけるこの秋のサケ初確認は、産卵環境改善区間だった。この水路には、今シーズン合計90か所の産卵床が作られた。 ・水路には数十尾のサケが見られる状態が続き、連日観察する市民が訪れていた。 ・観察しやすい環境が作られたことにより、小学校の観察会などにも利用され、多くの市民がサケを身近に感じることができるよう場所となった。 ・2019年1月19日には湧水調査を行い、産卵環境改善区間生まれの野生稚魚を確認した。 								
関連URL等	札幌ワイルドサーモンプロジェクト https://www.sapporo-wild-salmon-project.com/								